

セカンドオピニオン・遠隔カンファレンスシステム ～D to P with D オンライン診療～

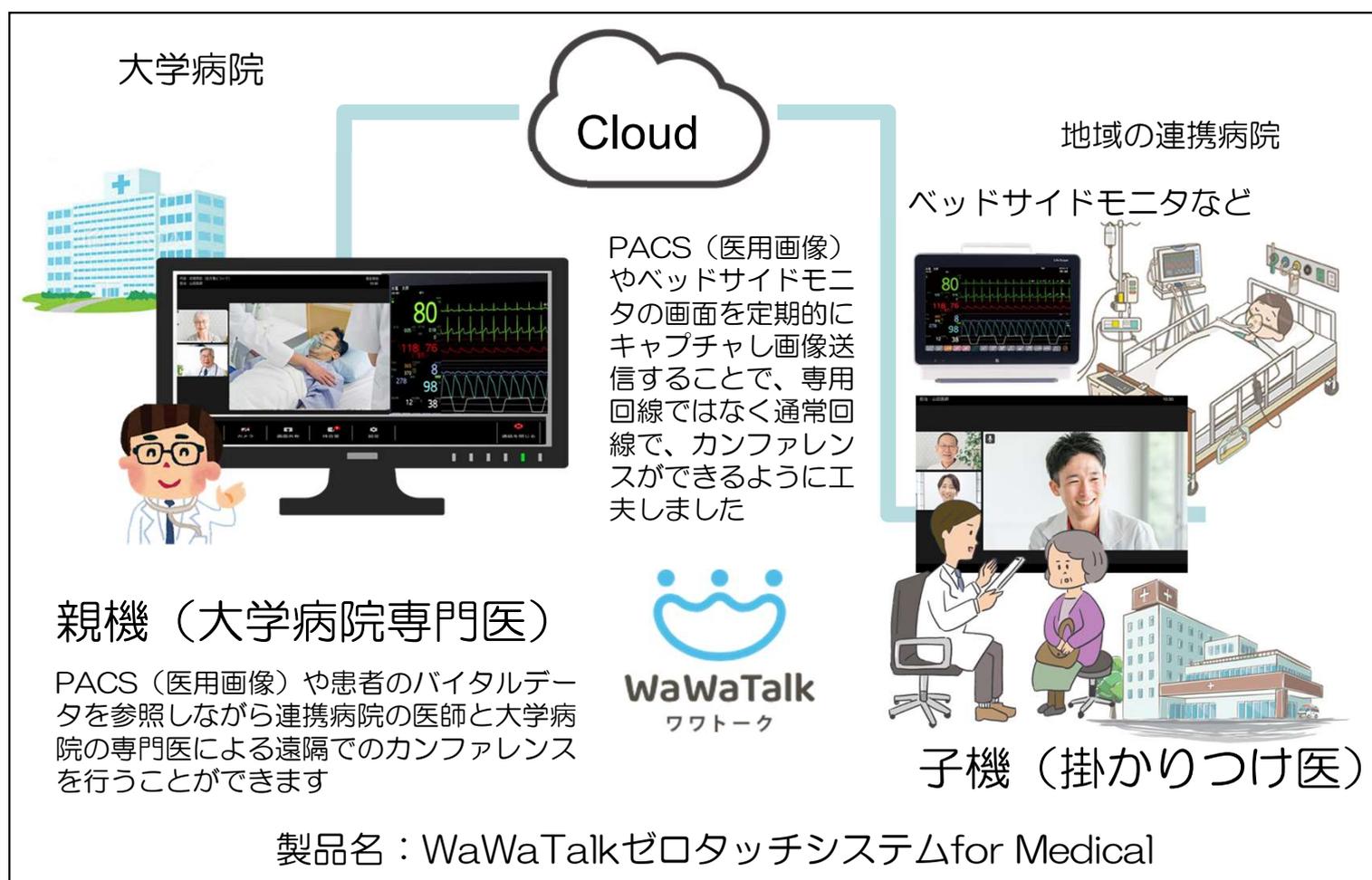
■支援の概要

専門医不在の医療機関において、患者の掛かりつけ担当医と、大学病院の専門医が患者カルテやバイタルモニターを共有しながら、対面と同等のカンファレンスを可能にするシステムの開発を支援しました。これにより、専門医不在の地域の患者も、最先端医療を享受できるようになります。

親機側で端末の操作を全て行うため、掛かりつけ医師側は、端末の操作知識が無くとも、予約した時間に端末の前に座るだけで専門医と電子カルテや、患者のベッドサイドモニタ等の画像を共有しながらオンライン・カンファレンスができます。更に、このシステムを救急車に搭載することで、搬送先の医師と連携して適切な救命措置にも貢献できます。

■支援の項目

- ① システム企画・開発計画策定支援
- ② 開発進捗管理、システム実装支援



本システムは、厚労省 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業において一部拠点病院等へ導入されました。

■支援の成果

- ① 県内拠点病院、救急車への実装を行いました。
- ② 株式会社メディモニー(山口大学医学部発ベンチャー)から販売を開始しました。